**令和６年度　エネルギー産業創出促進事業補助金（府内企業による研究開発等）**

**交付決定案件の概要**

※事業者名　五十音順

|  |  |
| --- | --- |
| 計画名称 | 水素燃料電池・リユースリチウムイオン電池活用型ハイブリット電源装置の実用化に向けた研究開発 |
| 事業者名（所在地） | ケィ・マック株式会社（大阪市） |
| 計画の概要 | 本事業では、従来の水素燃料電池とリチウムイオン電池(LiB)それぞれのデメリットを克服した、ハイブリッド運用型非常用電源の実用化に必要な３つの技術開発を行う。  Ａ：水素燃料電池とLiBを並行運用する際の、効率的なエネルギーマネジメン  トシステム(EMS)の開発  Ｂ：リユースLiBの運用に必要なバッテリーマネジメントシステム(BMS)の開発  Ｃ：LiBのIoTによる遠隔監視・予知保全技術の開発 |

|  |  |
| --- | --- |
| 計画名称 | 水素昇圧機シール部材の開発 |
| 事業者名（所在地） | 髙石工業株式会社（茨木市） |
| 計画の概要 | 水素ステーションに設置されている水素昇圧機においては、シール材が破壊され、リークするトラブルが発生している。  　シール部が破壊される原因は、180℃×87.5MPaという高圧水素を連続で使用する環境に起因していることがわかっている。  　本事業では、シール構造・ゴム材料を見直し耐久性を向上させることを目指す。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 計画名称 | 薄膜Si太陽光発電セルの製品化に伴う研究開発 |
| 事業者名（所在地） | 株式会社ヤシマ（高槻市） |
| 計画の概要 | スパッタリング技術と高周波を組み合わせた自社の薄膜製造技術を使用することにより、従来のシリコン(Si)系薄膜太陽電池を構成するSi系膜をアモルファスから結晶系に変えて、太陽光発電パネルの高効率・低コスト・フレキシブル・軽量化を実現する。実用化のための変換効率等の最適値を実証する実験等を行う。 |